

ブレーキが濡れたとき

モーターサイクルを水洗いしたり、または水たまりの中を通過したり、雨の日に走行すると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり（冬季には氷が付着する場合があります）、ブレーキがすぐには効かない場合があります。



警告:

ブレーキが濡れているときはかならず走行初期段階のうちに周囲の安全を確認した上でブレーキを軽く作動させて、水分を乾燥させてください。

ブレーキに塩が付着したとき

モーターサイクルが塩分に覆われた路面を走行した後、しばらくブレーキをかけないでいると、ブレーキの効きが遅くなる場合があります。



警告:

ブレーキディスクやブレーキパッドにできた塩の層は、かならず最初に削り取ってください。

ブレーキにグリースや油が付着したとき



警告:

ブレーキディスクやパッドには、グリース、オイル類が付着しないよう注意してください。

ブレーキに汚れや泥が付着したとき

オフロード走行やぬかるんだ道路を走行すると、ブレーキディスクやブレーキパッドに汚れが付着し、ブレーキの効きが遅くなることがあります。



警告:

できるだけ早い段階で、周囲の安全を確認した上でブレーキを軽く作動させて、ディスクとパッドを清掃してください。

ブレーキに汚れが付着していると、パッドの磨耗の速度が早くなります。

電子制御の働きで
繊細なタッチを実現

モーターサイクルを安全に停止させるためには、テクニックと繊細なコントロールが求められます。フロントホイールがロックして滑り出せば、モーターサイクルを安定させるための縦方向と横方向の力が失われ、熟練ライダーでも転倒を免れることはできません。

このため、熟練のライダーでも緊急時に制動力を限界まで使いきることは非常に困難です。

アンチロックブレーキシステムは、前後のホイールがロックするのを防止します。これにより、転倒を未然に防ぐことができるばかりでなく、ブレーキが本来持つ性能をフルに発揮させ、制動距離を大幅に短縮することができます。

BMWのアンチロックブレーキシステム(ABS II)は、特に直線走行で急ブレーキをかける場合に威力を発揮します。

ABS IIは、すべてのBMWライダーにプロなみの制動能力と危険回避能力を与えることを可能にします。

安全性を確保するための
予防措置

ABS IIにより制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキングすることは避けなければなりません。ABS IIは、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置なのです。

- 無謀なライディングは避け、また注意を怠らない。
- 制限速度を守る。
- コーナリング時のブレーキングには特に注意する。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性力が勝り、ABS IIといえどもその影響を補正することはできません。